

第1987回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和6年8月5日(月)
- 午前10時 1分開会
午前11時37分休憩
午前11時47分再開
午後 0時31分休憩
午後 1時21分再開
午後 2時53分休憩
午後 3時 3分再開
午後 4時12分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、戸所教育長職務代理者、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、佐藤副教育長、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、小谷野教育総務部副部長、高田義務教育指導課長、中沢県立学校部参事兼特別支援教育課長、杉田高校教育指導課長、井澤財務課長、竹野谷県立学校人事課長、平野総務課長(書記長)、依田県立学校部高校改革統括監
小島書記、大久保書記、星野書記、縣書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- 会議を公開しないこととする事項について
日吉教育長が、第58号議案の審議及び協議事項エの協議について、会議を公開しないこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
 - 日程の変更について
日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程につ

いて先に行うこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(1) 協議事項

ア 令和7年度埼玉県立伊奈学園中学校において使用する教科用図書の採択について

日吉教育長 この協議につきましては、県立伊奈学園中学校の教科書採択に関する協議でありますので、委員御自身が教科書発行者との関わりがあれば、御発言をお願いします。

(発言なし)

日吉教育長 特にないようですので、このまま先に進めさせていただきます。協議の進め方ですが、まず、事務局から概要について説明させます。事務局の説明に対する質疑を行った後、各委員から学校訪問の際の学校の状況や校長との意見交換を行っての意見・感想を伺います。その後、それぞれの教科書を調査研究した上での意見・感想を伺います。次に、採択案をまとめるに当たっての総括的な質疑・意見交換を行うという流れで、進めてまいります。それでは、まず、事務局から説明させます。

高田義務教育指導課長（提案理由、令和7年度使用教科用図書及び発行者一覧、埼玉県教科用図書選定審議会答申、教科用図書調査研究資料等について説明）

日吉教育長 それでは、事務局の説明に対する質疑を行います。御質問はありますか。

坂東委員 令和3年、2021年1月に中教審から「令和の日本型学校教育の構築を目指して」、という答申が出されてから初めての教科書発行になるかと思えます。令和の日本型学校教育では、誰一人取り残されることなく、持続可能な社会の創り手を育成していく中で、ツールとしてのICTを取り入れていくということがあったと思いますが、その中で教科書にはどのような変化があったのか説明をお願いします。

高田義務教育指導課長 委員お話の中央教育審議会からの答申が出されたことを

踏まえて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実により、主体的・対話的で深い学びの授業改善を図ることが求められているところでもあります。それを受けて、多くの教科書で、生徒一人一人の学習到達度等に応じた問題が複数用意されていたり、QRコードによる動画や補充問題が提供されたりしておりました。さらに学んだ内容を踏まえて、グループで協力して作業する課題が示されておりました。各発行者とも「令和の日本型学校教育」で目指す学校教育を意識した工夫が図られていたところでもあります。

戸所教育長職務代理者 伊奈学園中学校が作成した調査研究資料について、伊奈学園中学校では、どのように調査研究をしてきたのかももう少し伺いたいと思います。

高田義務教育指導課長 学習指導要領で示されている「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から、調査の観点を作成し、学習指導要領の趣旨がしっかりと反映されているか、伊奈学園中学校の生徒にとって、どのような点が効果的なのか等を調査研究しております。さらに、生徒の実態や学校の教育目標、保護者の意見等を踏まえて、全ての発行者についてまとめているところでもあります。

小林委員 デジタル教科書の調査研究について、国から示されたURLを基に英語のデジタル教科書について発行者ごとに調査したのですが、教科書ごとに様々な機能があることが理解できました。一人一台タブレットを持っている子供たちにとっては、紙の教科書を鞆に一杯詰め込んで通学するよりもデジタル教科書の方が学習にも効果的な部分があるのではないかと感じているのですが、今後、文科省のデジタル教科書の導入について、どのような見通しなのか教えてください。

高田義務教育指導課長 デジタル教科書の今後の導入見通しということですが、デジタル教科書は令和6年度、今年度より本格的に導入されております。デジタル教科書提供の対象学年については、英語においては、国立、私立も含め、全国全ての小学校5・6年生、また、中学校の全学年が対象となっております。算数・数学については、一部の公立・私立の小学校5・6年生、中学校全学年が対象となっております。その他の教科については、学校現場の環境整備や活用状況等を踏まえながら段階的に提供される予定とされております。英語、算数・数学以外

の具体的な教科は現時点では明らかになっておりません。

日吉教育長 事務局の説明に対する質疑は、他にございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 それでは次に移ります。委員の皆様には、5月に伊奈学園中学校を訪問し、校長と意見交換を行い、学校現場の状況把握を行っていただきました。つきましては、その際の御意見・御感想をお願いします。

櫻井委員 私も5月に伊奈学園中学校に訪問させていただき、校長との意見交換や授業の見学をさせていただきました。その中で伊奈学園中学校の教育目標については、「生徒一人一人の学力を着実に伸ばす。豊かな人間性を養う。健やかな心と体を育てる。」ということで、また、目指す生徒像については、「生涯にわたって自ら学び続けることのできる人、協調性に富み、思いやりの心をもって行動できる人、高い志を持ち、社会の様々な分野で貢献できる人」であると説明を受けました。実際に授業や生徒の様子を見て、この教育目標や目指す生徒像の実現のため、教員の皆さんが工夫して授業を進めていると体感しました。また、工夫していることとして、外部人材の活用を積極的に行っており、卒業生や企業、NPOの協力を頂いて授業を進めているとお伺いしました。今回訪問をして、生徒が更に自分を伸ばし、学びと社会のつながりを考えられるような教科書を選ぶという視点が必要であると感じました。

首藤委員 私も授業参観の感想なのですが、学校訪問で英語と社会の授業を参観しました。伊奈学園中学校の生徒は一人一人が質問されたことに自信を持って答えていて、さらに、自分なりの言葉、言い回しで上手に表現している姿に感心しました。また、訪問の際、校長から学びを楽しくする工夫として、学び方を学ぶ、学習法講座や学びあいタイムなど、生徒同士が互いに認め合って、高め合いながら学習できる機会を設けていると伺いました。生徒が大人になるころには、AIを始めとする様々な技術が更に進化していると思います。大人になってからも、学んでいかななくては、社会で活躍することはできないと思っております。そのため、中学生の頃から、学び方を理解することが重要だと思いますので、学習の進め方が分かりやすい教科書や、学習が楽しいと感じられるような教科書が良いの

ではと考えております

小林委員 子供たちが学習する様子を授業参観で拝見しましたが、教科にかかわらず、どの教科でも非常に集中力高く、しっかりじっくりと深く考えながら、落ち着いて学習する姿がとても印象的でした。また、先生に指名されるのではなく、自ら積極的に発言する、活発に自分が思っていることを発言する、そういった生徒が多い印象を受けました。学ぶ意欲が高く、思考力や判断力を使う上で、そういったものにより適した教科書が、伊奈学園中学校の子供たちには合っているのではないかと考えました。素晴らしい学習意欲だなと保護者としても感激したところです。

首藤委員 校長との意見交換で感じたことですが、伊奈学園中学校では、個別最適な学びについて、大学と連携して研究を進めていると聞きました。教科書においても、自分の、生徒一人一人の理解に合わせて、学習を進めていけるような構成となっている教科書や複数の難易度の問題が用意されている教科書がふさわしいのではないかと思います。

日吉教育長 他に御意見はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、教科書見本を調査研究した上での御意見・御感想をお願いします。

戸所教育長職務代理者 国語についてお話ししたいと思います。国語の教科書を選ぶに当たっては、生徒たちが自ら文章を読み、書きたいという意欲を持つことが重要であると考えております。文章やグラフなど複数の資料から情報を読み取り、根拠を示して自分の考えをまとめる、内容がある教科書を選んでいく必要があるのではないかと考えております。実用的な文章と読み応えのある文学の両方があってこそ国語の力が伸びていくのではないかと考えております。

小林委員 国語に関連してですが、光村図書の教科書は、「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を生かして書くという活動を行うなど、「読む」と「書く」ということが結び付けられており、それに紐づいて生徒自身が「自分でも書いてみたい」と意欲を持つという流れができている教科書であると感じました。また、

教材ごとに何を学ぶのかが「学びへの扉」で分かりやすく示されているので、子供たち自身が、この単元の学習を進める上で、ということが課題になっているか明確にして、主体的に取り組むことができる教科書であると感じました。

櫻井委員 数学についてです。学校訪問で数学の授業を参観する機会がありまして、難易度の高い課題に対して、生徒が積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。選考試験を受けてきた生徒なので基礎学力は身に付いているものと思いますが、中には、学ぶ意義を理解せずに、やる気が無ければ学力は下がってしまう危険性もはらんでいると思います。そういった中で、数学に対して苦手意識を持っている生徒もいると思いますので、生徒にとって興味と関心を持って、前向きに取り組んでいけるような数学の教科書を選ぶことが重要だと感じました。

坂東委員 学校訪問をして気付いた点を踏まえてですが、選考試験を受けてきた生徒であっても、数字に対する苦手意識の差が出てきていることもあり、今までは先生方が補助資料を作成し、苦手意識を埋める努力をしてきたと聞いております。東京書籍の教科書は、「Math Connect」という概念で作られていて、数字が社会の様々な場所につながるということが表現されていることが特徴的かと思い、数学は数式を丸覚えしないといけない、暗記の理論だけではなく、社会に使えるということが苦手意識のある生徒にも響くのではないかと思いました。単元ごとに「クイックチェック」「基本の問題」「章の問題」など、繰り返し練習に取り組む機会が設けられていました。繰り返して覚えていくことも必要なので、QRコードで自習しやすいというところでは、特徴のある教科書であり、本人のチャレンジ精神を生かせると思いました。

首藤委員 全ての数学の教科書を比較してみましたが、問題の解き方に対するヒントの量に違いがあると感じました。基礎学力があり、学ぶ意欲の高い生徒には、シンプルに問題に向き合える教科書がふさわしいと思います。また、練習問題も比較しましたが、教科書によって難易度にかなり差があると感じました。伊奈学園中の生徒には、やりごたえのある問題が多い数研出版の教科書が、生徒をやる気にさせることができるのではないかと考えます。また、この教科書は高校数学へつながるような発展的な問題も取り上げられています。そのため、中高一貫校

の生徒にふさわしいと思いました。難しい問題がありますが、QRコードの動画を見ることで理解を深められると考えます。また、理科の教科書ですが、全体的に、どの教科書も学習の流れが示されており、生徒自身で学習を進められるような構成になっていると感じました。中学生の観察や実験の中には危険を伴うものもあるので、手順が丁寧に示されていたり、注意すべき点をはっきりと示されていたりする教科書を選んだほうがよいと考えます。その点、東京書籍の教科書は、観察・実験の手順が写真で示されており、イラストで示すよりもイメージをしやすいのではないかと思いました。また、東京書籍は、発展的な学習で、例えば電気分解イオンの動きを示すなど、高校の内容にも触れていました。中高一貫教育ということを考えれば、高校の学習内容との接続を視野に入れた教科書は、高校で学ぶ化学や物理などへの関心を高めることにつながると考えています。

戸所教育長職務代理者 保健体育についてお話したいと思います。実際に自分も、5年前に生活習慣病になったこともあり、生活習慣病について、どのように取り扱っているのかが気になり、その点を頭に置きながら調査研究を行いました。大修館の教科書では、現代人の多くがかかってしまう生活習慣病について、その原因や喫煙のリスクなどグラフを用いて、体への悪影響を丁寧に説明してあり、単に知識として覚えるのではなく、なぜ悪影響があるのか、その理由まで理解することで、自分の体を大切にしようと考えることにつながるのではないかと思います。大修館の教科書は、写真やグラフなどの資料が豊富に用意されており、比較しながら考えることができる教科書だと感じました。また、学習のまとめとして書き込み欄が用意されており、振り返りの自己評価を行う上で大変効果的だと思いました。

首藤委員 社会、歴史の教科書についてです。先ほど説明にもありましたが、社会に関しては多くの出版社が教科書を出しているので、特に丁寧に検討しました。歴史の教科書ですが、現在、自然環境や資源の有限性、貧困問題など、地域や地球規模の様々な課題について、子供一人一人が自分自身の課題として考え、持続可能な社会づくりにつなげていく力を育むことが求められていると考えています。これは日本だけの問題ではなく、世界の人々とも協力して課題解決に取り組

んでいかなければなりませんし、グローバルな視点を持って、リーダーシップを
発揮できる人材の育成が必要であると考えます。国際社会に通じる人材を育てる
には、自国の歴史や伝統文化を深く知ることが大切だと思います。そうした点か
ら、多面的、多角的に考察できる教科書が伊奈学園中学校の生徒にはふさわし
いと考えます。

櫻井委員 歴史の教科書で育鵬社の教科書についてですが、各単元に時代年表が示
されて歴史の流れを視覚的に捉えやすい教科書で、全体像を理解する上で有効で
あると感じました。また、教科書の右下には「確認・探究」コーナーがあり、習
得した知識を整理して表現できるものでした。グループ学習にも適しており、協
働的な学びを通じて、理解を深められるよう工夫されている教科書だと思いま
した。もちろん、どの教科書にも、特設ページやコラムで学習した内容を深める記
述がありますが、その中でも、いろいろな分野で活躍した先人の偉業などを紹介
している記述については、校訓を「自彊創生」としている伊奈学園中学校の生徒
には、是非読んでもらい、自らの学びを深めていってほしいと思いました。

小林委員 育鵬社の教科書を見ていて「歴史ズームイン」や「人物クローズアップ」
という特集は、現在使用している教科書にも掲載していて、伊奈学園中学校の生
徒に非常に好評だと聞いています。高校で学習するような発展的な内容も併せて
掲載されているので、興味を持った人物や時代について、学校訪問の際も図書館
を利用する生徒が多いと伺いましたが、正に図書館にすぐに行って調べるような
生徒も出てくると感じました。好奇心を高める深い内容が扱われていて、伊奈学
園中学校の生徒の自主的な学習意欲の更なる促進が期待できる教科書だと感じ
ました。

坂東委員 学校訪問を通して、伊奈学園中学校の先生と生徒のやりとりが講義の中
で非常に有効に生かされていると感じています。そういう意味で社会の教科書に
ついてですが、歴史を単調に年代別に何があったと記載しがちですが、東京書籍
の教科書は、最初に主要人物のイラストがあり、時代の流れが上手に入っており、
このような歴史の考え方も良いのだと思いました。また、「チェック&トライ」
や「スキル・アップ」では、先ほどの令和の日本型学校教育の中において、個別

の段階と協働作業を組み合わせていくといった指針を入れているところに気が付きました。討論する楽しさ、友人たちと協力しながら学ぶという姿勢を育むことができる教科書だなと感じました。

戸所教育長職務代理者 公民の教科書についてお話したいと思いますが、どの公民の教科書も、現代的課題である多文化共生、消費者教育、選挙年齢引き下げに伴う政治参加等に関する内容が大変充実している印象を受けました。伊奈学園中の生徒には、社会のリーダーとして社会参画の態度を養い、様々な課題を自分事として捉えて見つめていける教科書が良いと思います。

小林委員 公民の育鵬社の教科書を見ていたところで、「やってみよう」という内容で、友達と協力しながら学び合う活動が用意されていたところが印象的でした。課題として「部活動の平日のグラウンド割りを考えよう」という身近なものや、「最高裁判所裁判官の模擬審査をしてみよう」といったテーマごとに友達と協力しながら学べる参加型学習が準備されており、社会事象を考えることを通して、社会参画しようとする態度を養う活動が設定されているのでよいと感じました。

戸所教育長職務代理者 英語の教科書についてお話をしたいと思います。自分でも海外駐在の経験があって、英語をきちんと身に付けるには、「聞く」「読む」「話す」「書く」といった四つの技能をバランスよく習得することが重要だと思っています。開隆堂の英語の教科書では、グループでのプレゼンテーションやポスター作成など、対話を通して学習を進める教材が用意されており、授業参観もさせてもらいましたが、英語でのプレゼンに力を入れている伊奈学園中学校にはふさわしいと思いました。

首藤委員 開隆堂の教科書についてですが、伊奈学園中学校から提出のあった教科書評価一覧に、「言語材料が單元ごとにまとめられており、生徒が自発的に復習に取り組める内容となっている。」と記載されていました。そこで、新しい教科書になり、どのように変わっているのか、確認をしたところ、前回同様に新しく学習する表現が示されており、生徒自身が学びを進めていく上で有効なページだと思いました。また、会話の様子が漫画で表現されており、英語が苦手な生徒でも親しみを持って取り組める内容であると考えます。

坂東委員 英語はICT教育が進んでおり、教科書の変化を感じました。やはりネイティブの発音にいかにか耳慣れしていくかということも教科書も工夫しており、録音したものをその場で流すことが簡単にQRコードでできるようになっています。デジタルネイティブの子供たちにとっては取り組みやすいですし、英語に親しくなれる教材として、どの教科書も、そのような工夫がされているので、遊び心で自分で発音してみようということも躊躇なくできるような、安心感があるように思いましたので、伊奈学園中学校の生徒には、そういったことができる教科書を使ってもらいたいと思います。

櫻井委員 道徳の教科書についてです。非常にたくさんあり、良いことが書いてあるものが多いのですが、全ての教科書の巻頭に、授業の目的や進め方を解説するページが設けられていて、1年間の見通しを持って学習を進められるように工夫されていると思いました。また、どの教科書もいじめや情報モラルなど現代的課題を題材として取り上げており、教科書によっては、登場人物や作者のインタビューをQRコードから見られるようにしたり、漫画で読ませたりするなど、学びやすい工夫がされていると全般的に感じました。

首藤委員 道徳に関して、あかつき教育図書には、いじめに関する教材が、1年生2年生3年生どの学年にも二つ以上ありました。そして生徒の発達段階に合わせてあり、生徒の心を揺さぶるような教材が用意されていると感じました。他にも情報モラルに関することや、共生社会に関する内容も用意されており現代社会の課題に、生徒が向き合いながら、また仲間と話し合うことができる内容構成になっていると思いました。先ほどもありましたけどもQRコードから教材に登場する人物のインタビューなどを見ることができるようになっていて、教材への理解がより深まる工夫があるというふうに思います。もう一つ、学研の教科書にも優れた点がありまして、教材の後に「深めよう」があり、対話的な活動を通して、道徳性の育成につながるよう工夫がされていると思います。巻末には、「未来への扉」があり、1年間を振り返って、今年度の学びを次年度につなげられるような工夫があるというふうに感じました。

小林委員 家庭科の教科書も興味がある内容でしたので見させてもらいましたが、

開隆堂の教科書において、実習の手順が見開きで効果的に配置されていて、生徒にとって授業中取り扱いやすく理解しやすい構成になっていると感じました。調理実習の調理方法がQ & A方式で、科学的根拠に基づいて解説がされており、伊奈学園中学校の生徒にとっては意欲的に取り組めるのではないかと感じました。

「白いTシャツに色が付いた、ズボンやスカートの裾がほつれた」など本当に身近な生活場面を取り上げていて、生徒自身が自分事として問題意識を持って、学習に取り組めるような様々な例や視点が効果的に示されているなど感じました。学んだ内容を実生活に生かす力が養われるのではないかと感じました。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 それでは、採択案をまとめていきたいと思いますが、採択案をまとめるに当たって、何か御意見はありますか。

戸所教育長職務代理者 私たち教育委員は、伊奈学園中学校に訪問し、学校の様子や授業の様子、また、教科書の活用状況などをそれぞれが見させていただきました。校長先生をはじめ、先生方との意見交換では、伊奈学園中学校の先生方が育てたい生徒の姿や、特に力を入れている取組などを十分理解することができました。また、委員一人一人、教科書をしっかりと読み込んで、どの教科書が伊奈学園中の生徒にふさわしいかじっくりと考えてきたと思っています。よって各委員が、「この教科書がふさわしい」と考えているものがあると思いますので、その考えを一人一人が投票で意見を表し、集約する方法が、よろしいと思いますが、いかがでしょうか。

日吉教育長 投票で採択案をまとめてはどうか、という御意見をいただきました。今回の採択に向けて各委員が、学校の特色や生徒の実態などを把握し、調査研究が行われてきました。どの教科書がふさわしいのか投票を行い、採択案をまとめることとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 全出席委員同意

日吉教育長 それでは、投票を実施し、その結果により、種目ごとに教科書の一つに絞り込みたいと思います。投票の具体的な方法について、事務局に考えがあれ

ば説明してください。

高田義務教育指導課長 それでは、投票の方法について、事務局としての案を御説明させていただきます。まず、投票に使用する投票用紙についてでございますが、発行者を一覧にしたものを御用意いたします。これまでの調査研究の結果や本日の意見交換等の内容を踏まえまして、採択すべきと考える発行者を1者選び、投票欄に○印を付けていただき、無記名による投票を実施していただきたいと存じます。投票用紙を回収した後は、事務局で集計し結果を発表いたします。その際、一番多く投票した発行者の教科書を採択案としていただくことではいかがでしょうか。最も多く得票した発行者が複数になるということも考えられますが、その場合は、教育長に採択案を決定していただくというのではいかがでしょうか。以上、投票の具体的な方法につきまして、前回の方法を参考に、事務局としての考え方を御説明いたしました。

日吉教育長 ただいま、説明がありましたが、これまでの調査研究の結果や協議を踏まえて、意見を集約する意味で無記名で投票を行い、他の発行者よりも1票でも多数の票を得た発行者を採択案とする。そして、最も多数の票を得た発行者が複数あった場合は、教育長である私が採択案を決定する。以上のような形で採択案をまとめることとしたいと思いますが、御意見はございますか。よろしいでしょうか。

○ 全出席委員同意

日吉教育長 それでは、そのように採択案をまとめていくこととします。事務局は投票用紙を配布してください。

○ 事務局職員が、投票用紙を配布し、各委員は当該用紙に記入した。

○ 事務局職員は、日吉教育長の指示により、各委員から投票用紙を回収し、集計作業に当たることとなった。

○ 日吉教育長が協議事項アの協議を中断し、協議事項イの協議を先に行うことと

する動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、協議事項アの協議を中断し、協議事項イの協議を行うこととなった。

イ 令和7年度埼玉県立特別支援学校において使用する教科用図書の採択について

日吉教育長 この協議については、県立特別支援学校の教科書採択に関する協議でありますので、教科書発行者との関わりがあれば、御発言をお願いします。

(発言なし)

日吉教育長 私についてですが、本日の協議資料の「4 学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等」を見ますと、私の親族が申請発行者に勤務しております。つきましては、学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等に係る協議の際は、退席させていただきたいと思いますが、よろしいですか。

o 全出席委員同意

日吉教育長 それでは、そのように進めさせていただきます。協議の進め方ですが、まず、事務局から概要について説明させます。事務局の説明に対する質疑を行った後、各教科・科目における教科書の調査研究及び各学校の選定理由書等の確認を踏まえた意見などを伺います。その後、採択案をまとめるに当たっての総括的な質疑・意見交換を行うという流れで進めてまいります。それでは、まず、事務局から概要説明をお願いします。

中沢県立学校部参事兼特別支援教育課長（提案理由、中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科書、中学部で使用する特別支援学校中学部用文部科学省著作教科書、高等学校に準ずる教育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書並びに学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等について説明）

日吉教育長 ただ今、事務局から説明がありましたが、まず、「1 中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科書」、「2 中学部で使用する特別支援学校中学部用文部科学省著作教科書」、「3 高等学校に準ずる教

育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書」について、協議を進めていきたいと思っております。それでは、事務局の説明に対する質疑を行います。御質問はありますか。

戸所教育長職務代理者 事務局の説明にもありましたが、今年度は4年に1度の中学校用検定済教科書の採択年度に当たっており、より慎重な検討が必要です。中学校用検定済教科書については、事務局の説明の中で、「障害種別の合同調査研究や関係校長による勉強会を開催し、県教育委員会として、そのプロセスごとに選定に関わってきた」とありました。また、学校からの選定案についても、「教科書選定検討委員会を開催し、各校及び障害種別の選定経緯などを報告させ、関係校で情報共有・意見交換するなど、県教育委員会として選定に関わってきた」とありました。資料36ページがその流れを示したものでありますが、プロセスとしては県教育委員会が積極的に教科書調査研究に関わってきたことが理解できます。

櫻井委員 教育委員会が積極的に調査研究に関わってきたという中で、教科書選定検討委員会において、県教育委員会がどのように選定に関わってきたのか、具体的に説明してください。

中沢県立学校部参事兼特別支援教育課長 教科書選定検討委員会では、県立学校部長が委員長となり、学校からの選定案について、各学校及び障害種別の選定経緯などを報告させ、関係校で情報共有・意見交換するとともに、県教育委員会より質疑を行い、各学校の選定案の適否についてだけでなく、選定結果やその理由について、保護者や地域住民等に対して説明責任を果たせる内容となっているかという観点からも確認しております。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、教科書の調査・研究に取り組んでいただいた上での御意見をお願いします。

首藤委員 国語については全発行者で「平家物語」を扱っていました。そこで、4者を比較してみたところ、どれも歴史的仮名遣いと現代的仮名遣いで構成されて

いましたが、光村だけが歴史的仮名遣いと現代的仮名遣のフォントを変えていました。歴史的仮名遣いのフォントが手書き風になっており、古典の雰囲気、見た目からも感じられる様に思えました。確認したところ、光村は手書き文字に近い教科書体を自社開発していたり、明朝体やゴシック体も自社開発したりして、フォントへのこだわりが強いと感じられました。特別支援学校は見ることに困難がある子供たちが多くいると聞いていますので、光村の国語が視覚障害、病弱、肢体不自由校で選定されていることから、学校ではこうした細かい配慮を踏まえていることがよく分かりました。聴覚障害では、聞こえないことによる言葉の習得に難しさがあると考えています。言葉の習得に直接に関係する国語と英語についてですが、大宮ろう学園と坂戸ろう学園では、国語で三省堂、英語で教育出版を選定していました。三省堂の国語は題材ごとに「語彙を豊かに」というコーナーを設けていて、語彙の習得に有効であると考えます。また、教育出版の英語も題材ごとに「Grammar（グラマー）」という、文法の習得に有効なコーナーを設けていました。どちらも言葉の習得に、より適した教科書であると考えます。質問ですが、病弱の英語について、伊奈分校や嵐山分校では東書を選定していますが、けやき本校では光村を選定しています。どのような違いがあるのでしょうか。

中沢県立学校部参事兼特別支援教育課長 例えば、光村の英語では、全てのユニットが「扉」「Part」「Goal」の流れで学習できるよう構成されており、それぞれが見開き1ページに収まっていて、児童が見通しを持って取り組める教科書となっています。また、ユニットごとに「自己紹介カードを作ろう」や「友達のすてきなところを紹介しよう」など、「Goal」が明示されていることも分かりやすいものとなっております。けやき特別支援学校本校の生徒は、伊奈分校や嵐山学園分校の生徒に比べて、疾患や長期入院により体力や集中力等が低下しているため、また治療のため、授業を中断せざるを得ないこともあります。短編小説集のように、短いプロットであれば、中断があっても興味関心が途切れにくいという利点がございませう。そうした観点から、単元の内容等が簡潔に短くまとまっているこの教科書が選定されたものと考えております。

坂東委員 特に病弱や肢体不自由の子供たちの教科書については、病気の程度や不

自由さの程度を考え、慎重に選んだ方が良いと思います。特にけやき特別支援学校で病気によって学校に通えない子供もいるので、子供の成長過程において、「病気」や「死」の概念について、表現によってはマイナスであったり、又はプラスであったりすると思いますが、その点が上手に書いてある教科書が望ましいと考えています。決して病気を隠すということではなく、理解度に応じた表現になっているものが良いと考えています。日本文教出版の教科書は、その点をデリケートに書いてあり、生きている人物に焦点を当てていますので、病弱のけやき特別支援学校本校や肢体不自由校に向いていると思いました。肢体不自由では、ページをめくるのが大変であったり、視覚認知に課題がある子供は、イラストや文章を見ることに苦勞をすることもあるので、情報量や紙の重さ、開けるようなページ等、内容に加えて、そういった工夫がされている教科書が望ましいと思います。違ったペースで学ばないといけないときに、そういった点が非常に取り組みやすい教科書を選定すると学習の効果にも良いと感じました。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、教育委員の皆様には、5月から6月にかけて学校訪問へ行っていただきました。また、6月には14校の県立特別支援学校の校長と意見交換を行い、児童生徒の実態や教科書の使用状況、教科書の選定状況について確認をしていただきました。そして、7月に各学校から教科書の選定案が事務局に提出され、委員の皆様にご各学校の選定案を確認していただきました。これらの取組を踏まえ御意見をお願いします。

小林委員 知的障害と肢体不自由を併置する所沢おおぞら特別支援学校を訪問しました。肢体不自由では、一人一人の障害の状況が大きく異なる傾向にあるが、それに加えて知的障害の児童生徒も在籍するので、子供たちの実態の幅がとても広い学校でした。実態の幅が広いということは、必然的に学習課題も様々となり、扱う教科書の種類や扱い方が多様になることが分かりました。また、6月に特別支援学校の校長先生との意見交換会を行いました。各学校においては、学校教育目標や目指す学校像、地域との連携に基づき、さらには保護者の声も大切にしな

がら、校長先生自らが教科書を読み、校内の教科書調査研究に主体的に関わり、児童生徒の障害特性に応じた教科書を組織的に選定していることが確認できました。

日吉教育長 他に御意見等はありませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、採択案をまとめていきたいと思いますが、「1 中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科書」、「2 中学部で使用する特別支援学校中学部用文部科学省著作教科書」、「3 高等学校に準ずる教育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書」について、採択案をまとめるに当たっての御意見はありますか。

坂東委員 これまで学校訪問や調査によって、学校の現場は多様性を包括していくのにとっても苦労されていることが分かりましたし、それを通して、生徒に何が一番ふさわしいか、よく考えていることが分かりました。教育委員会事務局としても障害の程度に応じた教科書を選ぶための作業部会があり、積極的に働き掛けて、教科書採択案を選ぶために活動されていると理解しました。

戸所教育長職務代理者 教科書は言うまでもなく、学校の授業における主たる教材であります。教科書の採択に関わることに責任を感じるとともに喜びを感じ、私もしっかりと教科書について調査研究を行いました。また、学校における選定の経緯、選定理由を確認し、選定の重みを各学校が十分に認識して、慎重に選定作業に当たった様子が確認できました。さらに、学校訪問や意見交換会などを通して、各学校の実情や児童生徒の実態を知ることができ、それに対応するよう、適切な教科書を選定していることをこの目で確認することができました。これらのことを踏まえ、総合的に判断し、学校が選定した結果を踏まえて採択案をまとめることとしてよいと考えております。

日吉教育長 今、委員から、「学校における選定の経緯、選定理由を確認し、選定の重みを各学校が十分に認識して、慎重に選定作業に当たった様子が確認できた。さらに、学校訪問や意見交換会などを通して、各学校の実情や児童生徒の実態を知ることができたし、それに対応するよう、適切な教科書を選定していることを

この目で確認することができた。これらのことを踏まえ、総合的に判断し、学校
が選定した結果を踏まえて採択案をまとめることとしてよいと考える。」という
御意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

○ 全出席委員同意

日吉教育長 御賛同いただきましたので、本日の協議を踏まえ、「1 中学校に準
ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科書」、「2 中学部で使
用する特別支援学校中学部用文部科学省著作教科書」、「3 高等学校に準ずる
教育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教
科書」については、次回、事務局から議案として提案し、採択したいと思いま
す。次に、「4 学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等」に
移ります。先ほど申し上げましたとおり、私はこの協議の間、退席させていた
だきます。その間の会議の運営については、戸所教育長職務代理者をお願いします。

(日吉教育長退室)

戸所教育長職務代理者 それでは、学校教育法附則第9条に定める教科用図書のう
ち、一般図書等の採択案をまとめるに当たっての御意見はありますか。

櫻井委員 知的障害の春日部特別支援学校宮代分校を訪問しました。この分校は、
通常の高校内にあるというのが特徴で、授業や行事を通して通常の高校生との交
流が行われていることを確認しました。このような交流は、社会参加を推進する
大切な取組であると感じました。宮代分校の他にも、特別支援学校の高校内分校
では、東洋館の「くらしに役立つ」シリーズという社会参加を見据えた実践的な
図書を教科書として使用していますが、適切な教科書であると思いました。学校
訪問を通して各学校の実情や児童生徒の実態を知ることができており、学校教
育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等についても、他の教科書と
同様に、各学校が慎重に選定作業に当たった様子が確認できました。私は、学校
が選定した結果を踏まえて採択案をまとめることとしてよいと考えます。

戸所教育長職務代理者 今、櫻井委員から、「学校訪問を通して各学校の実情や児
童生徒の実態を知ることができており、学校教育法附則第9条に定める教科用図
書のうち、一般図書等についても、他の教科書と同様に、各学校が慎重に選定作

業に当たった様子が確認できた。学校が選定した結果を踏まえて採択案をまとめることとしてよいと考える。」という御意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

○ 全出席委員同意

戸所教育長職務代理者 御賛同いただきましたので、本日の協議を踏まえ、「4 学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等」についても、次回、事務局から議案として提案し、採択したいと思います。学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等については、ここまでとします。それでは、日吉教育長に入室していただきます。

(日吉教育長入室)

日吉教育長 協議事項イについては、ここまでとします。

○ 協議の結果、次回の教育委員会で採択することになった。

○ 日吉教育長が、中断していた協議事項アの協議を再開することとする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、協議事項アの協議を再開することとした。

ア 令和7年度埼玉県立伊奈学園中学校において使用する教科用図書の採択について

○ 事務局職員による集計作業及び確認作業が終了し、日吉教育長が集計結果を確認した。

日吉教育長 事務局は投票結果を発表してください。

高田義務教育指導課長 それでは、結果を御報告申し上げます。国語については、東京書籍0票、三省堂0票、教育出版1票、光村図書5票でした。投票の結果、光村図書が最多得票でございました。書写については、東京書籍0票、三省堂0票、教育出版0票、光村図書6票でした。投票の結果、光村図書が最多得票でございました。社会・地理的分野については、東京書籍2票、教育出版0票、帝国書院4票、日本文教出版0票でした。投票の結果、帝国書院が最多得票でございました。社会・歴史的分野につきましては、東京書籍2票、教育出版0票、帝国

書院 0 票、山川出版社 0 票、日本文教出版 0 票、自由社 0 票、育鵬社 4 票、学び舎 0 票、令和書籍 0 票でした。投票の結果、育鵬社が最多得票でございました。社会・公民的分野については、東京書籍 1 票、教育出版 0 票、帝国書院 0 票、日本文教出版 0 票、自由社 0 票、育鵬社 5 票でした。投票の結果、育鵬社が最多得票でございました。地図については、東京書籍 0 票、帝国書院 6 票でした。投票の結果、帝国書院が最多得票でございました。数学については、東京書籍 3 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 0 票、啓林館 1 票、数研出版 2 票、日本文教出版 0 票でした。投票の結果、東京書籍が最多得票でございました。理科については、東京書籍 5 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 0 票、啓林館 1 票でした。投票の結果、東京書籍が最多得票でございました。音楽・一般については、教育出版 0 票、教育芸術社 6 票でした。投票の結果、教育芸術社が最多得票でございました。音楽・器楽合奏については、教育出版 0 票、教育芸術社 6 票でした。投票の結果、教育芸術社が最多得票でございました。美術については、開隆堂出版 0 票、光村図書 2 票、日本文教出版 4 票でした。投票の結果、日本文教出版が最多得票でございました。保健体育については、東京書籍 0 票、大日本図書 0 票、大修館書店 5 票、学研 1 票でした。投票の結果、大修館書店が最多得票でございました。技術・家庭の技術分野については、東京書籍 1 票、教育図書 0 票、開隆堂出版 5 票でした。投票の結果、開隆堂出版が最多得票でございました。技術・家庭の家庭分野については、東京書籍 0 票、教育図書 0 票、開隆堂出版 6 票でした。投票の結果、開隆堂出版が最多得票でございました。英語については、東京書籍 2 票、開隆堂出版 4 票、三省堂 0 票、教育出版 0 票、光村図書 0 票、啓林館 0 票でした。投票の結果、開隆堂出版が最多得票でございました。道徳については、東京書籍 0 票、教育出版 0 票、光村図書 0 票、日本文教出版 0 票、学研 2 票、あかつき教育図書 4 票、日本教科書 0 票でした。投票の結果、あかつき教育図書が最多得票でございました。以上となります。

日吉教育長 ただいま、事務局から発表がありました結果に基づきまして、繰り返しますが、国語については光村図書を、書写については光村図書を、社会・地理的分野については帝国書院を、社会・歴史的分野については育鵬社を、社会・公

民的分野については育鵬社を、地図については帝国書院を、数学については東京書籍を、理科については東京書籍を、音楽・一般については教育芸術社を、音楽・器楽合奏については教育芸術社を、美術については日本文教出版を、保健体育については大修館書店を、技術・家庭の技術分野については開隆堂出版を、技術・家庭の家庭分野については開隆堂出版を、英語については開隆堂出版を、道徳につきましてはあかつき教育図書を、それぞれ採択案としてよろしいでしょうか。

○ 全出席委員同意

日吉教育長 それでは、以上を採択案として、次回、事務局の提案を受け、審議したいと思います。事務局は、次回審議に向けて準備をお願いします。

○ 協議の結果、次回の教育委員会で採択することになった。

ウ 令和7年度埼玉県立高等学校において使用する教科用図書の採択について

日吉教育長 この協議については、県立高等学校の教科書採択に関する協議でありますので、教科書発行者との関わりがあれば、御発言をお願いします。

(発言なし)

○ 全出席委員同意

日吉教育長 特にないようですので、このまま先に進めさせていただきます。協議の進め方ですが、まず、事務局から概要について説明させます。事務局の説明に対する質疑を行った後、各教科・科目における教科書の調査研究及び各学校の選定理由書等の確認を踏まえた意見などを伺います。その後、採択案をまとめるに当たっての総括的な質疑・意見交換を行うという流れで、進めてまいります。それでは、まず、事務局から概要説明をお願いします。

杉田高校教育指導課長（提案理由、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書並びに令和7年度使用埼玉県立高等学校教科書申請数一覧について説明）

日吉教育長 それでは、事務局の説明に対する質疑を行います。御質問はありますか。

戸所教育長職務代理者 「高等学校学習指導要領の改訂のポイント」（教育委員会資料「参考3」）を踏まえて、事務局は教科書選定において各学校に対してどの

ように指導したのか教えてください。

杉田高校教育指導課長 平成30年度告示学習指導要領では、「『主体的・対話的で深い学び』に向けた授業改善」がポイントの一つとなっております。事務局では、高等学校学習指導要領の改訂に伴い、資料の「参考2」にあるとおり、各学校宛ての通知「令和7年度埼玉県高等学校教科書選定基準等について」において、「3 調査の観点」に、「生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する上で、どのような配慮がなされているか。」について調査をして選定するようにと指導したところです。

櫻井委員 先ほどの説明の中で、教科書選定の公正性・透明性の確保について、通知も出ていたとありましたが、事務局としては、各学校に対し、公正性・透明性を確保するために、どのような指導を行っているのか説明をお願いします。

杉田高校教育指導課長 事務局としては、4月の校長会議、副校長・教頭会議等において、法令遵守と公正確保について徹底するよう通知を基に指示しています。特に、各学校における選定作業が本格化する年度当初から7月初旬までは、教科書選定に関わる教科書発行者との接触については、公正性・透明性の確保の観点から控えること、という指導をしているところです。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、教科書の調査・研究に取り組んでいただいた上での御意見ををお願いします。

日吉教育長 まず、私の方から発言をさせていただきます。私は元々高校の国語の教員をしておりましたが、今回改めて国語の教科書を研究させていただきました。平成30年度告示高等学校学習指導要領では、先ほど説明にもあったが、「何ができるようになるか」を明確に掲げております。国語についても、そういった面で科目の再編が行われております。国語では、例えば夏目漱石の「こころ」を見させていただいたときに、単に文学作品を鑑賞するということに留まることなく、その中で、例えば「言葉の力」や「手紙を書くという営みの中に見える言葉の姿」を学ぶというテーマがあって、そういうテーマに漱石の「こころ」の教材が位置

付けられているという教科書がありました。今の埼玉県の高校生が自分の人生や社会の未来を切り拓く上で、「言葉の力」は大切だと思いますし、そういった言葉の力を実感し、言葉の力を的確に用いることは大切なことであると考えております。そういった意味において、現代の生徒に即した教科書であると考えております。

首藤委員 高校の教科書は種類も多く、更に難易度も高いので、私の場合は、観点を決めて調査研究いたしました。現代、玉石混交の情報が溢れている社会で、どのような情報を入手し、どのように活用するかは重要であると考えます。そこで情報活用能力という観点から、教科書を研究しました。国語では、目的と読者に応じて情報を整理し、分かりやすい説明になるよう工夫する題材を扱っているものがありました。情報を整理し的確に伝達する力を育てるということで、文章を執筆するだけでなく、添削・推こも学習活動になっています。また、料理のレシピを書くというテーマもあり、家庭科との教科等横断的な学習も可能となっていると思いました。地理でも、国のいろいろな省庁が提供している統計サイトを活用し、統計情報を地図上に示すGISの仕組みや操作を理解する学習内容となっているものがありました。地理的な分布の傾向や特徴を視覚的に捉えることで、情報活用能力の育成が図られることが期待される教科書がありました。二つ目の観点ですけれども、主権者教育の観点からも教科書を研究しました。情報では、主権者教育について、インターネットを活用した選挙活動についてまとめられています。ファクトチェックなど、情報の真偽について主権者自らの在り方や行動を考えさせる内容となっているものがありました。音楽では、インターネット上で手軽に音楽を聴ける現代において、著作権の種類やルール、制限について具体例や図を用いて分かりやすく表しているものがありました。成人年齢引下げとなって2年が経ちますが、高校生は直接的に関係する年代であるだけに、このような内容を様々な科目で学ぶことは意義が大きいと考えました。

小林委員 先ほども説明にありましたがけれども、「主体的・対話的で深い学び」というのがすごく重視されているということで、各学校にも調査の観点で、それをきちんと項目として入れたということもあって、私は「探究的な学び」の観点か

ら教科書を読ませていただきました。様々工夫されているなど感じたのですが、英語では、英文読解の中で、図書館の歴史や世界の図書館の比較を通して、デジタル化の進む現代で多様化する図書館や、図書館が担う役割をテーマとするものがあり、これが英語の教科書なのかと感じました。探究を進める上で、図書館の役割を理解し、活用することのできる内容を英語で扱っているということや専門科目で農業においても、プロジェクト学習の手順や気を付けるべきことが丁寧に解説されていて、探究活動の考え方や視点の基礎を農業の教科書でも学ぶことができると感じました。高等学校学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点が重視されているということで、探究的な学びは、この「主体的・対話的で深い学び」を実現するのに不可欠な視点だと感じました。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、教育委員の皆様には、5月から6月にかけて学校訪問へ行っていただきました。また、6月には18校の県立高校の校長と意見交換を行い、生徒の実態や教科書の使用状況、教科書の選定状況について確認をしていただきました。そして、7月に各学校から教科書の選定案が事務局に提出され、委員の皆様は各学校の選定案を確認していただきました。これらの取組を踏まえ御意見を申し上げます。

首藤委員 まず私は所沢北高校を訪問しました。所沢北高校の目指す学校像は「たくましい知性としなやかな感性を備え、高い倫理観とグローバルな視野を持って、地域や社会の持続的発展に貢献しようという高い志を有するリーダーを育成する」と現代的なスローガンを掲げています。実際に訪問をして授業を見学しましたが、生徒たちが非常に熱心に授業に取り組んでいて、授業を理解できると自分の進路を実現していくという「高い志」を持って臨んでいることが分かりました。また、そういった生徒の希望や夢を実現させたいという教職員、授業を分かりやすく行いたいという教職員たちの高い志もよく分かりました。所沢北高校の選定理由書を見ても高いレベルの教科書や、主体的・自主的に学習を進めている教科書を選んでいることが分かりました。そういうところから、学校が、生

徒の実態や目標に応じた教科書を選定していることが確認できました。もう一点ですが、選定の基本方針には「ICTを効果的に活用した不断の学習・授業改善を行う」ことが述べられています。実際に訪問した際も、生徒が一人一人端末を使いこなし授業に取り組んでいることが見受けられました。選定理由書にもデジタル教材が収録されているものを選んでいくことが分かりました。これからも、学校が生徒の学びの実態に適した教科書を選定していることがよく分かりました。

坂東委員 学校訪問で私は2か所行かせていただき、例えば蓮田松韻高校は、先日高校野球でも第1試合で頑張っていて、部活動にも力を入れていて、環境が非常に良いところで、学力そのものは、レベルに応じて、先生方が個別に対応していることがよく分かりました。教科書については、学力に差があるので、専門用語にルビが振ってあったり、ここを読むとよいと明示されている教科書を選んでいました。選定理由書にも、そのことが書かれており、先生方は生徒をよく見ていると感じました。また、新座柳瀬高校を訪問しましたが、同じ校舎に所沢おおぞら特別支援学校が入っており、インクルーシブ教育ということで、合同の行事のほか、校舎の入口が一緒ということで日頃から交流しているかと思います。そういった意味では、コミュニケーション能力や相手を思いやる共感の心を育てる教科書を選んで、特色を持った教育をしているということが分かりました。この二つの高校も学校の特色を生かした教科書を選んでいくと感じました。

小林委員 私もたくさんの学校を訪問させていただき、その中で宮代高校についてですが、先生方もいろいろと課題を感じているような学校で、「とことん生徒の面倒を見る宮高」という特色を学校全体で共有していました。宮代高校の選定理由書を見ると、基礎から発展まで丁寧に記載している教科書を選定していると思いました。とことん生徒の面倒を見る丁寧な指導によって、生徒が確かな学力を身につけることができるものとなっていると感じました。学校の特色を踏まえ、生徒の実態を丁寧に見ながら、組織的に教科書を選定していることが確認できました。

櫻井委員 意見交換会に参加させていただきました。その中で、三郷工業技術高校

の校長からは学校目標は「健康で健全な技術者を育成する」であり、技術者として生徒の自主性を高める配慮がなされている教科書を選定していると説明を受けました。また、選定理由書を見ると、QRコードの付いている教科書の選定が行われており、専門的な内容については、実際に図や映像を収録している教科書を用いることで自ら学習に取り組むのによいと感じました。このような状況から三郷工業技術高校に適した教科書を選定していると判断できると思いました。

戸所教育長職務代理者 私は白岡高校を訪問しましたが、白岡高校の生徒たちは明るく素直で一生懸命、授業に取り組んでいました。学校の実情をお聞きしたときに、進路先は様々で、大学、短期大学、専門学校あるいは就職と、本当に多様だということをよく理解できました。その上で、選定理由書を見てみると、基本的な内容から発展的な内容まで網羅している教科書を選定していることが分かりました。これは、学校が生徒の学びに、実態に適した教科書を選定していると判断できると思いました。

日吉教育長 他に御意見等はございませんか。

(発言なし)

日吉教育長 次に、採択案をまとめていきたいと思いますが、採択案をまとめるに当たって、何か御意見はございますか。

戸所教育長職務代理者 様々な観点から教科書の調査研究を行いました。埼玉県の高校生が自身の人生や社会の未来を切り拓く上で必要な資質・能力を身に付けるために重要な内容が記述されていることがよく分かりました。そして、様々な学校を訪問させていただき、生徒の実態や学校の様子、雰囲気、あるいは進路希望もそれぞれであることを実感させていただきました。さらには、各学校の教科書選定基本方針や選定理由書を読み込んでみると、正に選定の重みを各学校が十分に認識し、慎重かつ丁寧なプロセスを踏んだ様子が分かりました。さらに加えて、各学校が自校の生徒に最も適した教科書を選定していることも確認ができました。以上のことから、総合的に判断し、学校が選定した結果を踏まえ、採択案をまとめることとしてよいと考えております。

日吉教育長 今、戸所委員から、「埼玉県の高校生が自身の人生や社会の未来を切

り拓く上で必要な資質・能力を身に付けるために重要な内容が記述されていることがよく分かった。また、各学校には学校ごとの特徴や特色があり、生徒の実態や進路希望も様々であることが実感できた。そのような中で、学校における選定の経緯、選定理由を確認し、選定の重みを各学校が十分に認識して、慎重かつ丁寧に選定作業に当たった様子が確認できた。このようなことを総合的に判断し、学校が選定した結果を踏まえ、採択案をまとめることとしてよいと考える。」という御意見を頂きましたが、いかがでしょうか。

○ 全出席委員同意

日吉教育長 御賛同いただきましたので、本日の協議を踏まえ、次回、事務局から議案として提案し、採択したいと思います。

○ 協議の結果、次回の教育委員会で採択することになった。

(2) 報告事項

ア 県議会令和6年6月定例会概要について

井澤財務課長（提出理由、会期、本会議の質問、文教委員会、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会について説明）

イ 埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関する対応（提出された要望書等）状況について

竹野谷県立学校人事課長（提出理由、提出された要望書等について説明）

戸所教育長職務代理者 令和5年10月10日に提出された「勧告文への意見書」についてですが、なぜ今回このタイミングでの報告なのか教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 要望書等については、提出された方に確認を取った後に報告することとしております。確認できたのがこの時期であったということでありませう。

日吉教育長 今回頂いた要望書等につきましても、しっかり目を通させていただくということよろしいでしょうか。

○ 全出席委員同意

(3) 次回委員会の開催予定について

8月22日(木)午前10時

<非公開会議結果>

議事

第58号議案 令和6年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

上程

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和6年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について、審議を行いました。

協議事項

次の事項について、協議を行いました。

協議事項エ 埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に係る報告について